

海陽町学校再編基本計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1. 実施概要

- (1) 意見募集期間：令和6年2月5日（月）から令和6年3月4日（月）まで
- (2) 意見提出者：1人
- (3) 意見件数：1件

2. 計画案に関するご意見と町の考え方

該当箇所	基本計画 第4章 海陽町の学校のあり方 (2) 小規模校を存続させる場合の教育の充実について	
	意見概要 1	町の考え方
	<p>基本計画の第4章2の小規模校の教育の充実の項が未定稿であるのに、海南小学校への統合が望ましいというのは、少し乱暴ではないでしょうか。</p> <p>海部小学校は行き届いた少人数教育でICT教育をはじめ、高く評価されており学校評価でも100%の子どもが“ふるさと好き”と答えている。これは、4半世紀を超えるふるさと教育のたまものであり、地域と深く結びついた成果ではないでしょうか。今後は地域の意見を聞いて進めるようですが、アンケートへの回答が旧海部町では16.5%というのが、地域の無言の抵抗のように感じます。特色ある海部小学校に通わせたいという声もあるので、校区を拡げて受け入れることも検討してほしいです。</p> <p>また、海南小学校の防災は大丈夫なのでしょうか。公民館や図書館と併設や避難施設としての充実を持たせて総合的な防災拠点なら見方も変わってくると思います。</p> <p>財政的なシワ寄せがきているように思います。子どもや老人が楽しく暮らせる総合的な計画で町全体の活性化してゆくことをみんなが望んでいると思います。</p>	<p>海部小学校はご意見のとおり、町内小中学校のICT教育推進校として、学習でのICT活用について先進的な取り組みを行っています。海南小学校と海部小学校の統合に合意が得られた場合において、海部小学校で得られたICT教育の経験を活かし、魅力ある学校教育に取り組んでいく事ができます。また、小学校区が大きくなり、子どもたちは海南と海部地区のことを学んでいきますので、より地域の継承が進んでいくとも言えます。</p> <p>クラス替えのできる規模になっても小規模校の特色を活かしていく事もできます。教員の人数はクラス数によって教員の人数が決められています。海部小学校は1年生と6年生が単式学級数で2年生と3年生、4年生と5年生がそれぞれ複式学級となっています。統合後は各学年で1学級は確保できます。この場合教員の配置人数が増えますので、現在の海部小学校と同様に教員の目が子どもたちにいきわたることになります。</p> <p>海部地区のアンケートの回答については、3つの地区合計の中で16.5%でしたが、海部地区だけでみると、144件配布し、86件回収がありましたので、回収率は59.7%となっています。</p> <p>学校の再編統合は、まちづくりの取組では重要なこととなります。地域の魅力を継承することや子どもたちの教育が魅力あるものにするには、地域の方々の関りがあってこそです。引き続きご支援ご協力をいただきながら、町の活性化に寄与するよう取り組んでいきます。</p> <p>学校は本来教育施設であり、災害時における教職員の果たすべき最も重要な役割は児童生徒等の安全</p>

確保・安否確認、教育活動の早期正常化であります。

海南小学校は、大規模地震や津波等の非常災害時には、大里・四方原地域住民の指定避難場所としての役割も果たしています。屋上への屋外避難階段の入口部分には、プラスチック板が設置されており、非常時はこれを壊して階段内に入り、屋上へ避難することができるようになっています。屋上に約 300 人が避難できるスペースを確保しており、津波の水が引くまでは屋上に滞在することができます。

体育館の居住環境整備では、照明のLED化・移動式エアコンの設置、アクセスポイントを設置し Wi-Fi 環境も整備しています。